

# 9 ビオトープ(生き物の生息空間)の保全・創出と環境緑化技術

環境園芸学部 環境園芸学科 造園緑地専攻 准教授 竹内 真一

## 講座要旨

身近な緑を創出する技術は遠い砂漠地における緑化や農業開発プロジェクトなどにも適用されています。また、緑を創るだけでなく、生き物の生息空間であるビオトープを整備することにも応用されています。この講座では、砂漠や緑の少ない場所を緑化する方法や田んぼに関する技術や生き物を紹介します。そして人々がより良い緑の空間を求めることについて一緒に考えてみましょう。最近、地域の野生生物の生育可能な生態的空間の保護、保全、復元、創出を目的としたビオトープ事業への関心が急速に高まっています。実際に私たちはビオトープを整備し、生き物のモニタリングや生息空間の環境を整える技術を検討しています。様々な事例を紹介し、今後のビオトープのあり方について考えてみましょう。



## 履 歴

1994年 3月 鳥取大学大学院農学研究科修士課程修了 乾燥地研究センター水資源分野  
 1994年 4月 九州共立大学工学部開発学科助手  
 1999年 3月 博士(農学) 鳥取大学連合大学院  
 2001年 4月 九州共立大学工学部地域環境システム工学科助教授  
 2007年 4月 南九州大学環境造園学部造園学科 准教授

社 会 活 動 国営畑地整備事業検討委員会委員  
 日中農業水利交流委員会委員  
 福岡県農のめぐみ事業推進ワーキンググループメンバー  
 NPO法人北九州ビオトープネットワーク研究会監事 など

## 担当科目

緑地生態工学特別実験、ビオトープ概論、緑化学概論、緑化学実験Ⅰ・Ⅱ、環境生態学、造園植物学実験など